

神童寺：本堂

全山焼失の後、神童寺の本尊、蔵王権現が祀られているお堂は、1406年に再建されました。この以前は「蔵王堂」と呼ばれていたお堂は、現在は、本堂となっており、国の重要文化財に指定されています。

本堂には、本尊である蔵王権現が祀られています。蔵王権現は、日本独自の山嶽仏教である修験道の本尊です。激しい表情を持ち、人々を導き守る「不動明王」と容姿は似ていますが、右手と右足をあげているか否かで判断することができます。神童寺で制作された最初の蔵王権現は、修行と密教の修験道（厳しい修行を通して悟りを開く日本山嶽仏教）の創始者である役小角が、神童寺を訪ねた時に造ったと考えられています。現在の蔵王権現は、室町時代の作品です。

神童寺の蔵王権現は、大きくとても珍しいものです。神童寺は、敬虔な瞑想と厳しい修行の場であったため、厳しい自制を持った仏様を本尊として求め、蔵王権現を祀ったと考えられています。